

# 東京放射線

Tokyo Association of Radiological Technologists

2023年  
1月号

Vol.70 No.812

## 巻頭言

年頭所感 「虚心坦懐」 江田哲男

## 会 告

第143回日暮里塾ワンコインセミナー  
第20回ウインターセミナー  
第17回ペイシェントケア学術大会

## お知らせ

2022年度第3地区研修会  
2022年度第4地区研修会  
会費納入のお願い

## 総会資料

公益社団法人東京都診療放射線技師会 第74回臨時総会 資料

## 報 告

東京都功労者表彰

## 連 載

[消化管造影検査] 第5部 大腸・注腸X線検査  
第10回 注腸X線検査における臨床画像症例～狭窄を伴わない大腸進行癌(MP症例)～ 安藤健一

研修会等申込書  
登録事項変更届



公益社団法人東京都診療放射線技師会  
<https://www.tart.jp/>

# 新 年 謹 賀

2023年 元旦

本年もよろしくお願ひ申し上げます

理事（第三地区）	布川 嘉信	事務局	引地 春枝	理 業務施行（総務）	鈴木 雄一	委員長（第四地区）	上田万珠代
副会長	関 真一	理事（業務執行（経理）	理 業務施行（経理）	宇津野俊充	委員長（第五地区）	中田 健太	伊佐 理嘉
会長	江田 哲男	理事（庶務）	理 業務施行（庶務）	高野 修彰	委員長（第六地区）	富丸 佳一	
副会長	関 真一	理事（渉外）	理 業務施行（渉外）	浅沼 雅康	委員長（第七地区）	大津 元春	
副会長	野口 幸作	理事（編集）	理 業務施行（編集）	市川 篤志	委員長（第八地区）	西郷 洋子	
監事	白木 尚	理事（学術）	理 業務施行（学術）	小林 隆幸	委員長（第九地区）	澤田 恒久	
監事	野田扇三郎	理事（教育）	理 業務施行（教育）	長谷川雅一	委員長（第十地区）	名古 安伸	
顧問	中澤 靖夫	理事（広報）	理 業務施行（広報）	江田 哲男	委員長（第十一地区）	吉村 良	
顧問	篠原 健一	理事（厚生調査）	理 業務施行（厚生調査）	竹安 直行	委員長（第十二地区）	宮谷 幸司	
理事（第一地区）	増田 祥代	理事（情報）	理 業務施行（情報）	渡辺 靖志	委員長（第十三地区）	鮎川 勝巳	
委員長（第二地区）	島田 諭	理事（SR推進）	理 業務施行（SR推進）	原子 満	委員長（第十四地区）		
理事（第十六地区）	関谷 薫	理事（第一地区）	理 業務施行（第一地区）				

# 診療放射線技師 業務標準化宣言

いま我が国では「安心で安全な医療の提供」が国民から求められている。そして厚生医療の基本である「医療の質の向上」に向けて全ての医療職種が参加し、恒常的に活動をする必要がある。

私達が携わる放射線技術及び医用画像技術を含む診療放射線技師業務全般についても、国民から信頼される普遍的な安全技術を用いて、公開しなくてはならない。そして近年、グローバルスタンダードの潮流として、EBM (Evidence Based Medicine)、インフォームドコンセント、リスクマネジメント、医療文化の醸成、地球環境保全なども重要な社会的要項となっている。

公益社団法人東京都診療放射線技師会では、『国民から信頼され選ばれる医療』の一員を目指し、診療放射線技師の役割を明確にするとともに、各種業務の標準化システム構築を宣言する。

診療放射線技師業務標準化には以下の項目が含まれるものとする。

1. ペイシェントケア
2. 技術、知識の利用
3. 被ばく管理（最適化／低減）
4. 品質管理
5. 機器管理（始終業点検／保守／メンテナンス）
6. 個人情報管理（守秘／保護／保管）
7. 教育（日常教育／訓練／生涯教育）
8. リスクマネジメント
  - ～患者識別
  - ～事故防止
  - ～感染防止
  - ～災害時対応
9. 環境マネジメント（地球環境保全）
10. 評価システムの構築

公益社団法人東京都診療放射線技師会

目 次

# スローガン

チーム医療を推進し、  
国民及び世界に貢献する  
診療放射線技師の育成

謹賀新年	1
診療放射線技師業務標準化宣言	2
巻頭言 年頭所感「虚心坦懐」	4
会告1 第143回日暮里塾ワンコインセミナー	5
会告2 第20回ウインターセミナー	6
会告3 第17回ペイシェントケア学術大会	7
会告4 2022年度第1回災害対策研修会	8
会告5 2022年度城南支部研修会	9
会告6 2022年度第2回災害対策研修会	10
お知らせ1 2022年度第3地区研修会	11
お知らせ2 2022年度第4地区研修会	12
お知らせ3 2022年度第16地区研修会	13
お知らせ4 2022年度第12地区研修会	14
お知らせ5 2022年度第5地区研修会	15
お知らせ6 2022年度第9地区研修会	16
お知らせ7 会費納入のお願い	17
公益社団法人東京都診療放射線技師会 第74回臨時総会 資料	18
東京都功労者表彰	22
連載 [消化管造影検査] 第5部 大腸・注腸X線検査	
第10回 注腸X線検査における臨床画像症例	
～狭窄を伴わない大腸進行癌(MP症例)～	安藤健一 24
こえ	
・3年ぶりの広報活動	広報委員会 30
・中央区健康福祉まつりに参加して	片岡夏美 31
・OTAふれあいフェスタ体験記	遠藤孝音 32
・OTAふれあいフェスタに参加させていただいた感想	長谷川哲朗 32
・OTAふれあいフェスタに参加して	古川早姫 33
2022年4月～11月期会員動向	34
2022年度第8回理事会報告	35
研修会等申込書	42
登録事項変更届	43
Column & Information	
・求人情報	34
・学術講演会・研修会等の開催予定	40

2023年の表紙

“黄”という漢字は象形文字が変化したという説があり、矢の先に油をしみこませ火をともして射る火矢の「黄色い光」の意味から成り立った文字だそうです。

そして英語の“Yellow”はインド・ヨーロッパ祖語で輝くという意味の「ghel-」が原型といわれており、YellowとGoldの両方の語根とされているそうです。

会員の皆さまと東放技が一層輝ける年になるよう、願いを込めて黄色を選定しました。

本年もより一層のご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

編集委員会

# 卷頭言



## 年頭所感「虚心坦懐」

会長 江田哲男

2023年を迎え、皆さまにおかれましては新春を清々しい気持ちでお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、本会事業へ多くのお力添えをいただき誠にありがとうございました。

私は、11月に開催された第8回理事会にて前会長辞任に伴い、本会会長に就任致しました江田哲男でございます。昨年は本会会長逮捕により、多くの会員の方々には大変不安な気持ちにさせてしまいましたことを深くお詫び致します。

私は1992年に地区委員となり、2005年に本会の理事を拝命し現在に至っています。この間、多くの諸先輩の背中を拝見させていただき、たくさんのご指導をいただきました。振り返ってみると2009年に初めて北・南関東地域合同で開催された関東甲信越学術大会の学術責任者を担当し、同年に現在の新事務所移転に向けての実行委員長を拝命致しました。この時に、多忙な事業業務の中で仕事場では味わえない付度のない人間関係を技師会活動の中で発見しました。本来、人が有している「人」としての「絆」がこの会では築けるということです。この時に築けた仲間は私にとって今でも、かけがえのない「宝」となっています。技師会は会費が高いという有資格者もおりますが、それ以上に得られるものがきっとあると思います。是非、この会に入会していただき実感していただきたい。また、会員の皆さんにはただ会員になっているだけではなく、是非、活動に参加して仲間を作っていただきたいと思います。

そのために皆さまが「楽しめる」環境を呈することが私の責務と考えています。そのためにも皆さまから意見を傾聴し、会員一人ひとりが「楽しめる」会を築き、多くの診療放射線技師の方々が本会に興味を持っていただくことを希望致します。

私は、昨年度まで日本診療放射線技師会にて4期理事を務めさせていただきました。その時に経験したことなども取り入れて、本会のイノベーションを図っていきたいと考えています。

今年は新たな体制の下、役員・委員長と共に初心にもどり、「虚心坦懐」な気持ちを持って、会員が「楽しめる」事業活動を実施していきたいと思います。

本年も会員の皆さんより一層のご支援、ご協力を心よりお願い申し上げます。

# 会 告

## 1

### 第143回日暮里塾ワンコインセミナー (Web開催) テーマ「学術・教育委員が選んだ発表演題」

恒例となりました「学術・教育委員が選んだ発表演題」をWeb開催致します。

本年度開催された関東甲信越診療放射線技師学術大会、第38回日本診療放射線技師学術大会において発表された演題から学術委員、教育委員が協議し選出させていただきました。学会に参加できなかった方、参加したけれど聞けなかった方、もう一度聞きたい方、多くの方のご参加をお待ちしております。

オンラインは、Zoomの利用となります。セキュリティ対策としてパスワードを設置するなどして対策を講じます。不正利用などのリスクを回避するために、Zoom最新バージョンをダウンロードの上、ご参加ください。

本セミナーの映像、配布資料などの録音、録画（キャプチャを含む）、再配布は禁止と致します。

#### ～演題～

ディープラーニングを用いた胸部X線画像病変検出ソフトウェアの初期使用経験

東京医科大学病院 市原 舞衣

当院における撮影線量管理方法について

東京医科大学八王子医療センター 池本 裕貴

VSRADを用いたアルツハイマー型認知症診断におけるGANを用いた体動補正の有用性の検討

東京大学医学研究所附属病院 吉田 宜清

Single Energy CTとDual Layer CTの造影CTにおける造影剤量低減の検討

日本大学医学部附属板橋病院 大沼 汐莉

レポーティングシステムを活用した多職種チームへの所見報告

医療法人社団明芳会 イムス葛飾ハートセンター 米澤 俊和

前立腺MRIにおける歪み補正法を用いた拡散強調画像の検討

杏林大学医学部附属病院 熊谷 優真

放射線治療患者への栄養食事指導の導入

公立福生病院 土谷 健人

スタッフの育成と教育方法の関係についての考察

練馬光が丘病院 上村 亮介

胸部単純X線撮影における妊婦の胎内被ばく線量の推定

昭和大学病院 牧田隆太郎

#### 記

日 時：2023年1月11日（水）18時30分～20時10分

受講料：無 料

申込方法：東放技ホームページ (<https://www.tart.jp/>) の参加申し込みフォームからお申し込みください。または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。  
※参加者にはパスワードを返信致します。

定 員：定員は特に設けておりません

申込締切日：2023年1月4日（水）

カウント付与：日本診療放射線技師会学術研修1.5カウント付与

問い合わせ：学術委員長 市川篤志 E-Mail : gakujitu@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX : 03-3806-7724 以上

# 会 告

## 2

### 第20回ウインターセミナー（ハイブリッド開催） テーマ「オンコロジー～がん治療について考える～」

第20回ウインターセミナーはハイブリッド開催と致します。

オンコロジーとは、「がん」や「腫瘍」の原因や治療などについて研究する学問分野のことです。和名では「腫瘍学」と言われます。今回「がん」についてあらためて考え勉強しましょう。ご参加をお待ちしております。

#### 講 師

「オンコロジーについて」	小野薬品工業株式会社	神田 和慶
「胸部領域のがんについて」	順天堂大学医学部附属順天堂医院	稻毛 秀一
「腹部領域のがんについて」	独立行政法人国立病院機構東京医療センター	比内 晴子
「骨盤領域のがんについて」	東京医科大学病院	岡本 淳一

本セミナーの映像、配布資料などの録音、録画（キャプチャを含む）、再配布は禁止と致します。

参加申し込みおよび受講料お支払いにはWebシステム「イベントペイ」を使用しております。ご案内は電子メールで致します。「イベントペイ」からのメール送信となりますので、ドメイン指定等されている場合は受信できるように事前に設定をお願い致します。

フリーメールをご利用の場合、迷惑メールとして処理される可能性がありますので、迷惑メールフォルダや削除済フォルダ内をご確認ください。

申し込みは下記のアドレスまたはQRコードからお願い致します。

[https://eventpay.jp/event\\_info/?shop\\_code=3967236673917779&EventCode=P013850915](https://eventpay.jp/event_info/?shop_code=3967236673917779&EventCode=P013850915)

一度お申し込みいただいた受講料の返金はできません。あらかじめご了承ください。



#### 記

日 時	2023年1月28日(土) 15時30分～18時00分
会 場	ハイブリッド開催 (Webおよび東京都診療放射線技師会研修センターを利用)
場 所	〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505
ア クセス	JR日暮里駅北口改札 東口方面より徒歩3分
受 講 料	会員 1,000円、非会員 5,000円
申込方法	東放技ホームページ ( <a href="https://www.tart.jp/">https://www.tart.jp/</a> ) の参加申し込みフォーム、上記アドレスまたはQRコードからお申し込みください。 <u>※後日、参加者には「イベントペイ」よりURL、パスワード、IDを返信致します。</u>
定 員	定員人数は特に設けておりません (会場参加は会員のみ先着30名)
カウント付与	日本診療放射線技師会学術研修2.5カウント付与
問い合わせ	学術委員長 市川篤志 E-Mail : <a href="mailto:gakujitu@tart.jp">gakujitu@tart.jp</a>
	公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX : 03-3806-7724

以上

# 第17回ペイシェントケア学術大会（ハイブリッド開催）

## テーマ「接遇の達人をめざして」

第17回ペイシェントケア学術大会はハイブリッド開催と致します。

患者さまと医療従事者、両者の笑みがこぼれる医療現場づくりについて診療放射線技師一人一人が考えていかないといけない時代です。うわべだけではなくきちんと患者さまと向き合いどのように接していくべきか、接遇の達人を目指し一緒に考えましょう。

会場参加については事前登録とさせていただきます。

本セミナーの映像、配布資料などの録音、録画（キャプチャを含む）、再配布は禁止と致します。

参加申し込みおよび受講料お支払いにはWebシステム「イベントペイ」を使用しております。ご案内は電子メールで致します。「イベントペイ」からのメール送信となりますので、ドメイン指定等されている場合は受信できるように事前に設定をお願い致します。

フリーメールをご利用の場合、迷惑メールとして処理される可能性がありますので、迷惑メールフォルダや削除済フォルダ内をご確認ください。

申し込みは下記のアドレスまたはQRコードからお願い致します。

[https://eventpay.jp/event\\_info/?shop\\_code=3967236673917779&EventCode=P486812045](https://eventpay.jp/event_info/?shop_code=3967236673917779&EventCode=P486812045)

一度お申し込みいただいた受講料の返金はできません。あらかじめご了承ください。



### ～プログラム～

#### 10:30 開会式

テーマ演題「患者様のために考える～タスクシフト・シェアの現状と展望～」4演題  
 教育講演「外国人患者への接遇力」 講師：順天堂大学 坂野 康昌 先生  
 基調講演「接遇についてあらためて考えてみる（仮）」 講師：伊藤 光代 先生  
 市民公開講座「X線検査時の意思疎通の難しさ～多様性の時代だからこそ支援について考える～」  
 講師：株式会社アイエスゲート 宮田 充 先生

#### 16:00 閉会式

### 記

日 時：2023年2月4日（土）10時00分～16時00分（受付開始：10時00分～）

場 所：一橋大学 一橋講堂（ハイブリッド開催）

東京都千代田区一ツ橋2-1-2

受講料：診療放射線技師 1,000円、他職種および一般参加・新卒かつ新入会員 無料

申込方法：東放技ホームページ (<https://www.tart.jp/>) の参加申し込みフォーム、上記アドレスまたはQRコードからお申し込みください。

※後日、参加者には「イベントペイ」よりURL、パスワード、IDを返信致します。

定員：特に定員人数は設けておりませんが事前登録をお願い致します

カウント付与：日本診療放射線技師会学術研修4.5カウント付与

問い合わせ：学術委員長 市川篤志 E-Mail：[gakujitu@tart.jp](mailto:gakujitu@tart.jp)

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724 以上

# 会 告

## 4

### 2022年度 第1回災害対策研修会 <Web開催>

#### テーマ「災害時の放射線部門対応～経験から備えへ～」

主催：公益社団法人東京都診療放射線技師会 SR推進委員会

東日本大震災から11年が経ちました。発災後に多くの施設で災害対策の見直しや整備を行ったことと思います。その後も継続して訓練や見直しを行っていますでしょうか。災害時医療を他人事と考えていませんか？

今回の研修会では、「BCP」「訓練」「実際の被災地域での対応」などについて災害医療分野の第一線で活躍されている先生方にお集まりいただきご講演いただけることになりました。災害対策にご興味のある方は必見です。また、災害支援認定診療放射線技師の現状についてもご紹介致します。

皆さまの施設の災害対策に対する日頃の備えを見直すきっかけになれば幸いです。

オンラインは、Zoomの利用となります。セキュリティ対策としてパスワードを設置するなどして対策を講じます。不正利用などのリスクを回避するために、Zoom最新バージョンをダウンロードの上、ご参加ください。参加人数に上限がありますので早めにお申し込みください。

本セミナーの映像などの録音、録画（キャプチャを含む）、再配布は禁止と致します。

#### 内 容

放射線部門のBCP

熊本大学病院 池田 龍二 先生

放射線部門の災害訓練

兵庫県災害医療センター 中田 正明 先生

地震発生時の対応

国立病院機構宮城病院 立石 敏樹 先生

災害支援認定診療放射線技師について

公益社団法人日本診療放射線技師会 江藤 芳浩 先生

#### 記

日 時：2023年3月4日（土）13時00分～17時00分（オンラインによるライブ配信）

定 員：100名（先着順）

受 講 料：無 料

申込方法：東放技ホームページ (<https://www.tart.jp/>) の参加申し込みフォームからお申し込みください。または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

カウント付与：日本診療放射線技師会学術研修4.0カウント付与

問い合わせ：SR推進委員会 渡辺靖志 E-Mail：[saigai@tart.jp](mailto:saigai@tart.jp)

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

## 2022年度 城南支部研修会 (Web開催) テーマ「Ai (死亡時画像診断) の現状と今後の展望」

講師：国際医療福祉大学保健医療学部放射線・情報科学科 樋口 清孝 氏  
Ai情報センター 代表理事 山本 正二 氏

“Ai”という言葉を聞くと最近は「人工知能：AI」を思い浮かべる方が多いのではないでしょうか。2011年にドラマでAutopsy Imagingが取り上げられた当初は、診療放射線技師の間で話題となり“Ai”と言えば「死亡時画像診断」でした。

あれから10年、私たちを取り巻く環境は刻々と変化し、「人工知能：AI」ではブレイクスルーが起こり、今や画像診断のみならずビジネスや生活のいたるところに導入され、社会システムの一部として機能し始めています。

また、「死亡時画像診断：Ai」でも多くの方々の努力により当時の問題点が改善され、“Ai”を取り巻く環境が大きく変化してきています。進化したAutopsy Imagingの現状と適正な撮影条件や症例の解説を経験豊富な講師をお招きし、技師目線と読影医目線からご講義いただきます。

今回は3年前に直前で開催中止となった研修会の温め企画となります。

多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

オンラインは、Zoomの利用となります。セキュリティ対策としてパスワードを設置するなどして対策を講じます。不正利用などのリスクを回避するために、Zoom最新バージョンをダウンロードの上、ご参加ください。参加人数に上限がありますので早めにお申し込みください。

本セミナーの映像、配布資料などの録音、録画（キャプチャを含む）、再配布は禁止と致します。

### 記

日 時：2023年3月10日（金）19時00分～20時30分

受 講 料：無 料

定 員：100名（先着順）

申込方法：東放技ホームページ (<https://www.tart.jp/>) の参加申し込みフォームからお申し込みください。または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

※参加者にはパスワードを返信致します。

問い合わせ：城南支部委員会 E-Mail：[shibu\\_jyounan@tart.jp](mailto:shibu_jyounan@tart.jp)

第15地区委員長 原子 満（城南支部委員長）

第4地区委員長 上田万珠代

第8地区委員長 大津 元春

第11地区委員長 名古 安伸

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

# 会 告



## 2022年度 第2回災害対策研修会

テーマ「緊急被ばく医療研修会～3.11を風化させないために～」

主催：公益社団法人東京都診療放射線技師会 SR推進委員会  
講師：SR推進委員

東日本大震災に伴う東京電力福島第一原子力発電所の事故にあたり、公益社団法人東京都診療放射線技師会では、発災直後の被災地におけるサーベイ活動、都内避難所における放射線サーベイボランティア活動など、放射線専門の職能団体として活動を行いました。これらの活動・経験を語り継ぎ風化させないために、また、サーベイヤーの育成を継続するため本年度も研修会を企画しました。

本年度はクイックサーベイ実習を行います。皆さまのご参加をお待ちしております。

※新型コロナウイルス感染症の蔓延状況によっては研修会開催を中止する場合があります。  
(参加応募者には開催1週間前を目途に開催の可否についてご連絡致します)

### プログラム

～3.11の経験とその後の対応を踏まえて～

1. 緊急被ばく医療（原子力災害時医療）について
2. クイックサーベイ（概論）
3. クイックサーベイ（実習）

### 記

日 時：2023年3月18日（土）13時00分～16時30分（受付開始：12時30分～）  
場 所：公益社団法人東京都診療放射線技師会研修センター  
〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505  
ア クセス：JR日暮里駅北口改札 東口方面より徒歩3分  
定 員：20名（先着順）  
受 講 料：会員 1,000円、非会員 5,000円（当日徴収）  
申込方法：東放技ホームページ (<https://www.tart.jp/>) の参加申し込みフォームからお申し込みください。  
または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。  
カウント付与：日本診療放射線技師会学術研修3.0カウント付与  
問い合わせ：SR推進委員会 渡辺靖志 E-Mail：[saigai@tart.jp](mailto:saigai@tart.jp)  
公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

## 2022年度 第3地区研修会（ハイブリッド開催） テーマ「学ぼう！脳梗塞～各モダリティのアプローチ～」

休日・夜間帯を含めて、顔面や四肢の麻痺、呂律が回らないなどの有症状があり、脳梗塞を疑って検査依頼を受けることがあります。われわれ診療放射線技師は、診断から治療、その後のフォローまで理解して対応することが必要です。第3地区研修会では、モダリティ別に撮影法や対応について解説します。「脳梗塞とはどんな病気だったか？」からCTやMRI、Angio、RIではどのようなポイントに気を付け、検査や治療を行っているのか、基礎から学ぶ良い機会になればと考えています。

オンラインは、Zoomの利用となります。セキュリティ対策としてパスワードを設置するなどして対策を講じます。不正利用などのリスクを回避するために、Zoom最新バージョンをダウンロードの上、ご参加ください。参加人数に上限がありますので早めにお申し込みください。

本セミナーの映像、配布資料などの録音、録画（キャプチャを含む）、再配布は禁止と致します。

### ～ プログラム～

- |  |                       |
|--|-----------------------|
| 1.『脳梗塞に関する基礎概論』                              | 国立がん研究センター東病院 若松 和行 氏 |
| 2.『脳梗塞の診断・治療へ貢献するCT検査フロー』 東京女子医科大学病院 橋本 弘幸 氏 |                       |
| 3.『脳梗塞MRIの理解とポイント』 慶應義塾大学病院 上田 亮 氏           |                       |
| 4.『脳梗塞に対する血管内治療』 東京医科大学病院 松本 亘 氏             |                       |
| 5.『脳梗塞から学ぶ核医学』 国立国際医療研究センター病院 斎藤 郁里 氏        |                       |

### 記

- 日 時：2023年2月3日（金）19時00分～20時30分  
会 場：ハイブリッド開催（Webおよび東京都診療放射線技師会研修センターを利用）  
場 所：〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505  
ア クセス：JR日暮里駅北口改札 東口方面より徒歩3分  
受 講 料：無 料  
定 員：100名（うち、研修センター参加は先着30名）  
申込方法：東放技ホームページ（<https://www.tart.jp/>）の参加申し込みフォームからお申し込みください。または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。  
参加人数に上限がありますのでお早めにお申し込みください。  
※Web参加者にはパスワードを返信致します。  
申込締切日：2023年1月27日（金）（定員になり次第締め切り）  
問い合わせ：第3地区委員長 布川嘉信 E-Mail：[area03@tart.jp](mailto:area03@tart.jp)  
公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

# お知らせ

## 2

### 2022年度 第4地区研修会（ハイブリッド開催）

テーマ「一般撮影装置の精度管理を学ぼう～X線管球から撮影シーケンスまで～」

講 師：国際医療福祉大学 成田保健医療学部 放射線・情報科学科 市川 重司 教授

一般撮影装置を扱う皆さんに向けて「一般撮影装置の精度管理を学ぼう」を開催する運びとなりました。「精度管理が大切なのは分かっているのに、どこまで管理すればいいのか分からない」など、以下のようなお悩みはありませんか？

- ・今やFPDやIPが主流、ホントのところなんとなく管理していた
- ・装置や検出器の精度管理って？
- ・故障・劣化の予見、その対処は？

今回の研修では、これらの疑問やお悩みを解決するために、臨床経験、研究経験の豊富な国際医療福祉大学の市川重司先生を講師にお迎えし、研修会を開催します。皆さまのご参加を心よりお待ちしています。

オンラインは、Zoomの利用となります。セキュリティ対策としてパスワードを設置するなどして対策を講じます。不正利用などのリスクを回避するために、Zoom最新バージョンをダウンロードの上、ご参加ください。参加人数に上限がありますので早めにお申し込みください。

本セミナーの映像、配布資料などの録音、録画（キャプチャを含む）、再配布は禁止と致します。

#### 記

日 時：2023年2月8日（水）19時00分～20時15分（受付開始：18時30分）

会 場：ハイブリッド開催（Webおよび東京都診療放射線技師会研修センターを利用）  
(新型コロナウイルス感染症の感染状況により変更になる可能性があります)

場 所：公益社団法人東京都診療放射線技師会研修センター  
〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-22-1ステーションプラザタワー505

ア ク セ ス：JR日暮里駅北口改札 東口方面より徒歩3分

定 員：会場 30名、Web 100名（会場希望者は先着順とさせていただきます）

受 講 料：無 料

申込方 法：東放技ホームページ (<https://www.tart.jp/>) の参加申し込みフォームからお申し込みください。  
または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

申込締切日：2023年1月25日（水）

問い合わせ：第4地区委員長 上田万珠代 E-Mail：[area04@tart.jp](mailto:area04@tart.jp)

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

## 2022年度 第16地区研修会（ハイブリッド開催）

### テーマ「MRIのクエンチと磁性体吸着についての検討 ～インシデント・アクシデント事例報告～」

講 師：GEヘルスケア・ジャパン株式会社 MR部モダリティスペシャリスト 吉野 要 氏  
第16地区委員 川島 修一 氏、関谷 薫 氏

第16地区研修会はハイブリッド開催（会場およびWeb開催）です。

今回は、第1部として、MRIのクエンチ発生や磁性体吸着後、復旧させるためにどのくらいの費用と時間がかかるのかメーカー側より説明致します。

第2部として、MRI撮影室内で起きた、インシデント・アクシデント事例報告に関して、なぜ発生してしまったのか、どのような背景があったのか、その後、どのような対策をとったのかを、皆さんと情報共有させていただき、ご施設でのMRI室の安全管理に少しでもお役に立てればと考えております。

オンラインは、Zoomの利用となります。セキュリティ対策としてパスワードを設置するなどして対策を講じます。不正利用などのリスクを回避するために、Zoom最新バージョンをダウンロードの上、ご参加ください。参加人数に上限がありますので早めにお申し込みください。

本セミナーの映像、配布資料などの録音、録画（キャプチャを含む）、再配布は禁止と致します。

#### 記

- 日 時：2023年2月10日（金）19時00分～20時30分（受付開始：18時45分～）  
会 場：ハイブリッド開催（Webおよび東京都診療放射線技師会研修センターを利用）  
（IDおよびパスワードは追ってご連絡致します）  
場 所：公益社団法人東京都診療放射線技師会研修センター  
〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505  
ア クセス：JR日暮里駅北口改札 東口方面より徒歩3分  
定 員：会場 20名・Web参加 50名（先着順。定員になり次第、終了させていただきます）  
受 講 料：無 料  
申込方法：東放技ホームページ (<https://www.tart.jp/>) の参加申し込みフォームからお申し込みください。  
または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。  
問い合わせ：第16地区委員長 関谷 薫 E-Mail：[area16@tart.jp](mailto:area16@tart.jp)  
公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

# お知らせ

## 4

### 2022年度 第12地区研修会（Web開催）

テーマ「理学療法士に聞く リハビリと画像診断の関わり」  
～脳卒中患者を中心に～

講 師：公立昭和病院 リハビリテーション科 理学療法士 山下 祥紀 氏

日々の業務でわれわれが撮影している画像は、さまざまな医療現場で活躍していることは知っていますか？ その中で、患者さんが自立した日常生活に復帰するための治療を、医学的に支援する理学療法士の現場に注目しました。

医学リハビリテーションにとって画像はなくてはならないものであり、治療や支援を行っていく上で画像は必須といわれるくらい重要な要素となっています。われわれが働く現場の身近なところで、実は知らずに役立っていると新たな発見があるかもしれません。

急性期から退院までリハビリテーションのプロに、脳卒中患者を中心とした理学療法と画像の関わりについて分かりやすくお話ししていただきます！

新人の方からベテランの方まで、技術の会得や知識の再確認のためにも、皆さまの参加をお待ちしております。

本セミナーの映像、配布資料などの録音、録画（キャプチャを含む）、再配布は禁止と致します。

#### 記

日 時：2023年2月17日（金）19時00分～20時00分

開催方法：Web配信（Microsoft Teams）

定 員：50名（事前予約制先着順）

※参加者には後日専用URLをメールで配信致します。

受講料：無 料

申込方法：東放技ホームページ (<https://www.tart.jp/>) の参加申し込みフォームからお申し込みください。

問い合わせ：第12地区委員長 吉村 良 E-Mail：[area12@tart.jp](mailto:area12@tart.jp)

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

## 2022年度 第5地区研修会（Web開催）

テーマ「放射線治療 最前線（概論）  
～放射線科治療医が“ガンガン”教えます～」

講 師：東京大学医学部附属病院 山下 英臣 先生

放射線治療の分野は、近年めまぐるしい進歩を遂げています。以前よりも病変部に集中的に放射線を照射して副作用を少なくし、より効果的な高精度治療が可能になりました。IMRT（強度変調放射線治療）やSBRT（体幹部定位放射線治療）など、最先端の技術を用いた放射線治療方法も増えています。

治療装置には画像取得用のX線撮影装置が搭載され、画像誘導放射線治療（Image-Guided Radiation Therapy : IGRT）が行われるようになり、従来の放射線治療に比べ、がん病巣に対して正確な照射が可能となっております。最近では、光学式カメラシステムを使用した体表面イメージガイド放射線治療（Surface image-Guided Radiation Therapy : SIGRT）も広がりつつあります。

そこで第5地区では、東京大学医学部附属病院 放射線治療医 山下英臣先生を講師にお迎えし、最前線の放射線治療（概論）についてお話しitただく企画をしました。

本研修会は、放射線治療に携わっている方のみならず、近年の放射線治療分野を学ぶことのできる講演内容です。皆さまのご参加をお待ちしております。

※参加人数に上限がありますので、お早めにお申し込みください。

オンラインは、Zoomの利用となります。セキュリティ対策としてパスワードを設置するなどして対策を講じます。不正利用などのリスクを回避するために、Zoom最新バージョンをダウンロードの上、ご参加ください。参加人数に上限がありますので早めにお申し込みください。

本セミナーの映像、配布資料などの録音、録画（キャプチャを含む）、再配布は禁止と致します。

### 記

日 時：2023年2月22日（水）19時00分～20時00分

受 講 料：無 料

定 員：70名（先着順）

申込方法：東放技ホームページ（<https://www.tart.jp/>）の参加申し込みフォームからお申し込みください。または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

申込締切日：2023年2月15日（水）

問い合わせ：第5地区委員長 中田健太 E-Mail：[area05@tart.jp](mailto:area05@tart.jp)

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

# お知らせ

## 6

### 2022年度 第9地区研修会 (Web開催)

#### テーマ「新人教育のあれこれ」 ～大事な初めの一歩 病院ごとの方針と成果～

講 師：東京都健康長寿医療センター	石田 奨 氏
日本大学医学部附属板橋病院	照屋 寛人 氏
帝京大学医学部附属病院	四釜 静帆 氏
精神医学研究所附属東京武蔵野病院	飯塚 雅子 氏

本年度の第9地区研修会は新人教育の目的と重要性について考えます。今回は4施設の先生方をお招きし、施設の方針や教育の心得・コツまたは失敗例など多角的な視点で講演していただきます。年度末総括の時期での開催、多くの皆さまと情報・意見交換し次年度へ生かしたいと思います。

なお、今回はZoomによるオンライン開催となります。セキュリティ対策としてパスワードを設置するなどして対策を講じます。不正利用などのリスクを回避するために、Zoom最新バージョンをダウンロードの上、ご参加ください。参加人数に上限がありますので早めにお申し込みください。安全が確保され安心してセミナーが開催できる環境が整った時点で順次通常のセミナーを再開してまいります。それまで今しばらくお待ち下さい。

本セミナーの映像、配布資料などの録音、録画（キャプチャを含む）、再配布は禁止と致します。

#### 記

日 時：2023年2月28日（火）19時00分～20時30分

受 講 料：無 料

定 員：60名 （定員になり次第、終了させていただきます）

申込方法：東放技ホームページ (<https://www.tart.jp/>) の参加申し込みフォームからお申し込みください。または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

※参加者にはパスワードを返信致します。

申込締切日：2023年2月25日（土）（定員になり次第締め切り）

問い合わせ：第9地区委員長 西郷洋子 E-Mail：[area09@tart.jp](mailto:area09@tart.jp)

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

## 会費納入のお願い

会員の皆さんには、平素より公益社団法人東京都診療放射線技師会の活動にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。本会は皆さんの会費によって運営されております、スムーズな会務運営のためご協力いただきますようお願い致します。

さて、会費納入期限は、2022年9月30日となっております。お忘れの方は、お手元の払込用紙をご利用の上、早期に納入していただきますようお願い致します。

なお、会費未納期間2年以上の会員については、退会の手続きを致しておりますのでご注意ください。ご不明な点は事務所までお問い合わせください。

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

# 公益社団法人東京都診療放射線技師会 第74回臨時総会

公益社団法人東京都診療放射線技師会定款及び規程に則り、下記のように臨時総会を開催致します。

## 記

日 時：2023年2月23日（木）10時00分～  
会 場：東京都診療放射線技師会研修センター

東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505号

ア クセス：JR日暮里駅北口改札 東口方面より徒歩3分

## 総会次第

報 告：会長交替についての報告

第1号議案：会費額の変更に伴う規程の改正について

\*新型コロナウイルス感染拡大の状況をふまえ総会の開催方法について検討を重ね、このたび理事会にて書面表決による開催が決定致しました。  
代議員の皆さまにつきましてはご理解いただき、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

以上

公益社団法人東京都診療放射線技師会  
会長 江田 哲男

## 第1号議案 会費額の変更に伴う規程の改正について

2022年度第8回理事会において、本会の組織率の向上を目標（組織率50% 会員数3,000名）に、2年間の会費額の減額の決議を行った。コロナ禍の状況もあり、対面式の会議や研修会、講習会をWeb方式へと移行し、交通費等の支出低減等々により貰えると想定している。また更に、魅力ある技師会、役に立つ研修会等々へと変革していき、会員増へと役員一丸となって目標達成を目指す方向性である。新入会に関しては、会費という入会に対する障壁をなくし、入りやすい経済状況を確保するものとした。60才以上の会員に関しては、やはり定年を機に一定数の方が退会する傾向を改善し、少しでも永く会員を維持していただき後輩の指導をいただきたいとの思いが理由である。

そこで今回は、会費に関する規程の改正及び会費減額に関する時限規程の承認をもって、会費額の減額として総会の承認を頂きたいと考えている。皆さまのご理解ご協力をお願いしたい。

公益社団法人東京都診療放射線技師会 会費に関する規程（案）	公益社団法人東京都診療放射線技師会 会費に関する規程
	<p>(目的) 第1条 この規程は、公益社団法人東京都診療放射線技師会定款（以下、「定款」という。）第8条に定める会費並びに会費納入に関する規定とする。</p> <p>(会費) 第2条 定款第8条に定める会費は、会費及び刊行物購読料の総称をいう。</p> <p>(正会員会費) 第3条 この法人の正会員の会費は次のとおりとする。 (1) 初年度（新卒、既卒を問わず） 年額 5,000円 (2) 第2年度以降及び道府県技師会転入初年度の会費 年額 11,000円 (3) 再入会（入会後、理由を問わず退会したものが再度入会するとき） 年額 14,000円 (賛助会員会費) 第4条 この法人の賛助会員の会費は次の2種とする。 (1) 個人賛助会費 年額 11,000円 (2) 法人賛助会費 年額 一口 20,000円 (会費の使途及び配賦) 第5条 会費の使途は、定款第5章に定める総会の決議をもって行う。 2 会費の配賦割合については、定款第43条の取支予算書に従い総会で決議する。 (会費納入期限) 第6条 会費は毎事業年度当初に納入することを原則とする。一旦納入された会費は、過払いを除き返還しない。 2 名誉会員は会費の納入を要しない。 3 会費を当該年度の9月30日までに納入しないときは刊行物等の配布を停止する。</p>

公益社団法人東京都診療放射線技師会 会費に関する規程（案）	公益社団法人東京都診療放射線技師会 会費に関する規程	
	<p>4 刊行物等の配布を停止された者であっても、当該年度内に会費を納入すれば、刊行物等の配布をうけることができる。ただし、第3項に基づき停止された期間の刊行物等の配布は受けることはできない。</p> <p>(会費納入手続)</p> <p>第7条 会費の納入は、この法人の定める方法により、銀行口座、振替口座に振込むほか、持参し納入することができる。</p> <p>(会費免除)</p> <p>第8条 正会員で、次の各号の1つに該当する者は、会費免除の取扱いを受けることができる。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 病気治療のため1ヶ年以上入院又は自宅療養している者</li> <li>(2) 40ヶ年以上正会員で、年令70才に達し、かつ無職である者</li> <li>(3) 医療技術援助のため、1ヶ年以上海外出張した者</li> <li>(4) 出産、育児及び介護のため、1ヶ年以上休職する者</li> </ol> <p>2 会費の免除を受けようとする者は、会費免除申請書【様式4】に証明する書類を添えて、理事会に申請するものとする。</p> <p>3 第1項第2号により会費免除を受けようとする者で、転勤(属)等やむを得ない事由により同号に定める年数に満たない者であっても、その理由を付して申請することができる。</p> <p>4 会費免除の申請を受けた場合、理事会の承認を経て、本人に通知する。【様式5】</p> <p>5 会費免除の承認を得たのち、復職、再就職又は出張が解除された場合は、承認は効力を失うものとする。</p> <p>(会費減額)</p> <p>第9条 定款第5条で定める会員で、次の事項を満たす者は、会費減額の取扱いを受けることができる。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 60才以上の会員</li> <li>2 理事会承認を経て、新年度から資格を有する。</li> <li>3 会費減免処置対象者の会費は以下のとおりとする。           <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 60才以上～70才未満 年額 7,000円</li> <li>(2) 70才以上 年額 3,000円</li> </ol> </li> <li>4 会費減額者は以下の特別待遇を受けることができる。           <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) この法人の啓発、教育活動を担える者として待遇する。</li> </ol> </li> </ol> <p>(改廃)</p> <p>第10条 この規程の改廃は、理事会の決議によるものとする。</p> <p>2 ただし、第3条、第4条及び第9条に定める会費額については、理事会の決議を経て総会の承認を得るものとする。</p>	

公益社団法人東京都診療放射線技師会 会費に関する規程（案）	公益社団法人東京都診療放射線技師会 会費に関する規程	
7 この規程は、令和5年2月23日改正、令和5年4月1日施行する。尚、第3条および第9条第3項に関しては、令和5、6年度は、別に定める会費減額に関する時限規程に従う。	<p>附 則</p> <p>1 この規程は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第106条第1項に定める公益法人設立の登記の日から施行する。</p> <p>2 この規程は、平成24年5月26日改正、施行する。</p> <p>3 この規程は、平成26年12月6日改正、施行する。</p> <p>4 この規程は、平成29年6月18日改正、施行する。</p> <p>5 この規程は、平成31年4月4日改正、施行する。</p> <p>6 この規程は、令和3年3月4日改正、令和3年4月1日施行する。</p>	第3条および第9条第3項は、時限規程に従う。

公益社団法人東京都診療放射線技師会 会費減額に関する時限規程（案）	
(目的)	
第1条	この規程は、公益社団法人東京都診療放射線技師会における会費に関する規程に定める会費に関して時限的に規定する。
(適 応)	
第2条	この規程は、理事会および総会の決議に基づき、令和5、6年度を対象とした時限規程として規定する。
(正会員会費)	
第3条	この法人の正会員の会費は次のとおりとする。
(1) 初年度（新卒、既卒を問わず）	年額 0円
(2) 第2年度以降及び道府県技師会転入初年度の会費	年額 10,000円
(3) 再入会（入会後、理由を問わず退会したものが再度入会するとき）	年額 14,000円
(会費減額)	
第4条	定款第5条で定める会員で、次の事項を満たす者は、会費減額の取扱いを受けることができる。
(1) 60才以上の会員	
2 理事会承認を経て、新年度から資格を有する。	
3 会費減免処置対象者の会費は以下のとおりとする。	
(1) 60才以上～65才未満	年額 7,000円
(2) 65才以上～70才未満	年額 3,000円
(3) 70才以上	年額 0円
(改 廃)	
第5条	この規程の改廃は、理事会および総会の決議によるものとする。
附 則	
1 この規程は、令和5年4月1日施行する。	

# 東京都功労者表彰



社会福祉法人 恩賜財団 済生会支部東京都済生会  
東京都済生会中央病院 放射線技術科 技師長

えだ てつお  
**江田 哲男**

昭和39年3月18日生（58歳）

## 経歴

昭和57年 4月	中央医療技術専門学校	入学
昭和60年 3月	中央医療技術専門学校	卒業
平成10年 4月	慶應義塾大学文学部（通信教育課程）	入学
平成12年 3月	慶應義塾大学文学部（通信教育課程）	中途退学
平成24年 4月	放送大学 教養学部	入学
平成26年 3月	放送大学 教養学部	卒業
平成27年 2月	学位授与機構 保健衛生学士（放射線技術科学）	取得
平成27年 4月	鈴鹿医療科学大学大学院	入学
平成29年 3月	同校 修士	修得

## 職歴

昭和60年 4月	農林水産省診療所（非常勤）	入職
昭和60年10月	農林水産省診療所（非常勤）	退職
昭和60年11月	東京都済生会中央病院	入職
	現在に至る	

## 団体歴

平成17年 6月～現在	公益社団法人東京都診療放射線技師会	理事
平成26年 6月～令和4年 5月	公益社団法人日本診療放射線技師会	全国理事
平成26年 4月～現在	日本救急撮影技師認定機構	理事
平成27年 7月～現在	日本磁気共鳴専門技術者認定機構	理事
平成28年 4月～現在	チーム医療推進協議会	代議員
令和2年 4月～現在	日本画像医療システム工業会	理事
令和2年 4月～現在	東電福島第一原発救急医療体制ネットワーク連絡会議	委員

## 賞罰

平成28年 9月	公益社団法人日本診療放射線技師会 永年勤続30年表彰
令和2年 6月	東京都知事感謝状
令和4年 7月	厚生労働大臣表彰

# 東京都功労者表彰を受けて

江田哲男

このたび、公益社団法人東京都診療放射線技師会の推薦により、令和4年10月3日に東京都庁において「東京都功労者表彰」を受賞致しました。

受賞に際し、会長はじめ各理事、表彰委員会からご推薦いただいたことに心から感謝申し上げます。また、審査書類の作成においては渉外担当の高野修彰理事に大変お世話になりました。厚くお礼申し上げます。

私は昭和60年に診療放射線技師免許を取得し、同年、東京都済生会中央病院に就職して37年間放射線技術科で勤務してまいりました。日々の業務の傍ら平成4年から第4地区の地区委員、そして平成17年より福利調査委員会担当（現厚生調査委員会）の理事をお引き受け致しました。この間、平成21年に東京都主催の関東甲信越学術大会で学術委員長を担当して大会の企画・運営に携わらせていただき、この時にあらためて、技師会活動の面白みを経験させていただきました。

同年には、新事務所移転実行委員長を拝命して現事務所の移転に関わる業務をさせていただいたことが昨日のように感じます。また東日本大震災後、東京ビッグサイトでのサーベイボランティア活動や富士山清掃活動、荒川河川敷清掃活動、日暮里駅前清掃活動等々多くのボランティア活動に参加させていただいたことは私にとって貴重な経験でした。

最後に、これから公益社団法人東京都診療放射線技師会の益々のご発展と、会員の皆さまのご活躍を祈念し、功労者表彰のお礼と感謝の言葉に代えさせていただきます。ありがとうございました。

## 江田哲男様の東京都功労者表彰の祝辞

推薦時会長 篠原健一

このたびの令和4年度東京都功労者表彰（知事表彰）におきまして、本会会員として多年にわたりご活躍されている江田哲男様が受賞されましたことをご報告し、心よりお祝いを申し上げます。このことは都民の医療・福祉の第一線で活動している本会会員にとりましてもまことに誇りと名誉ある受賞であり慶びに堪えません。

江田様は昭和60年に診療放射線技師免許を取得し、恩賜財團 済生会 東京都済生会中央病院に入職後、今まで37年の永きにわたりこの道一筋に奉職し、消化管撮影からCT・MR装置の有効利用について取り組み地域医療に貢献されました。

平成29年には「診療放射線技師必携 画像のアーチファクトを探せ！」の執筆に参加し、広く診療放射線技師の知識、技術向上にも貢献されております。

本会においては、平成11年より総務委員として組織の中核で活躍し、平成13年より福利調査委員を経て平成17年から理事（厚生調査）として技師会活動を推進していただいております。

日本診療放射線技師会の理事（総務）としても活躍され、平成26年第30回日本診療放射線技師学術大会から令和3年第37回日本診療放射線技師学術大会の企画・運営に実行委員として携わりました。多くの会員の研究発表、教育の場を確保し、長年にわたり診療放射線技師の資質向上に指導的役割を果たされました。

このたびの江田様の受賞は、診療放射線従事者としての技術発展・地域医療に対するご功績が高く評価されたものであります。江田様の益々のご健勝をお祈りし、今後とも本会の発展と後進のために更なるご指導を賜りますようお願い申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。

# 第10回 注腸X線検査における臨床画像症例 ～狭窄を伴わない大腸進行癌(MP症例)～

みさと健和病院 安藤 健一

これまで消化管造影検査連載企画では、上部消化管X線検査について、X線TV装置の機器精度管理について、食道・胃・小腸・大腸の症例について連載してきました。

新シリーズとして『大腸・注腸X線検査』について連載させていただいております。

新シリーズでは、これまで大腸の解剖生理・注腸X線検査の前処置・撮影法・画像評価について、取り上げてきました。引き続きどうぞよろしくお願い致します。

## おさらい

前々回お話しさせていただいた、注腸X線検査の標準化による画像評価は、総論的には、大きさ約1cm以上の病変（大腸がん）を見逃さない検査を目指した標準化であります。基本的な概念は得られた画像の標準化（画像評価）、結果の標準化からの過程の標準化であります。各論的には、バリウムを自在に移動させる撮影技術・前処置評価・造影剤の濃度調整等の評価となります。

そして前回は、画像評価の基準達成を意識した撮影法の工夫について、お話しさせていただきました。二重造影像での描出範囲、バリウム付着については、われわれ検査をする側の検査技術に大きく関わってきます。画像評価の基準達成を意識した検査、検査後の振り返りやフィードバックをしっかり行い、常に検査精度の向上を目指す必要があると考えます。

今回は、画像評価の達成を意識した検査における、症例について提示させていただきます。

## 1 盲腸部病変の圧迫による病変描出

病変は盲腸の盲端部で最深部になります。ここで意識しなければならないポイントは、病変の局在・存在部位が最深部なので、造影剤付着効果を低下させないことと、盲腸まで腸管をしっかりと拡張させることが重要になります。

図1～図17に上行結腸までの画像を提示します。主病変部位は盲腸ですが、他病変の存在有無や腸管走行把握などを念頭に、肛門側の直腸から順に大腸全体を二重造影で描出撮影します。S状結腸に透亮像・はじき像を認めます。図9の病変部に淡くバリウムを漂わせたスポット撮影にて、病変は分葉形で8mm前後のI sp、大きさと形態より腺腫が考えられます。いずれにしても内視鏡的治療が可能な病変であると考えられます。その他は、下行結腸・横行結腸・上行結腸に憩室が散見されます。

盲腸の主病変についてですが、図18の背臥位盲腸スポット撮影では、虫垂入口部周囲にバリウムが残存しているため病変を明確に指摘することはやや困難です（右下画像では病変の存在を指摘することは可能かもしれません）。同様に図19の腹臥位盲腸スポット撮影でも、二重造影で撮影されていますが、病変を明確に指摘することはやや困難です（右上画像では病変の存在を指摘することは可能かもしれません）。残存バリウムを抜いた図20の背臥位盲腸スポット撮影では、病変部を透亮像として描出しております。この所見より、病変の局在は盲腸腹側に存在すると推測することができます。図21～図23は腹臥位盲腸スポット撮影です。バリウムの厚さを微調整して、

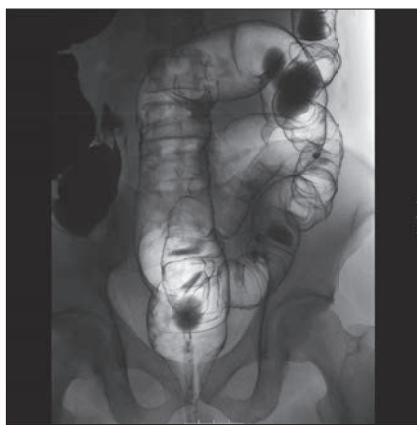


図1

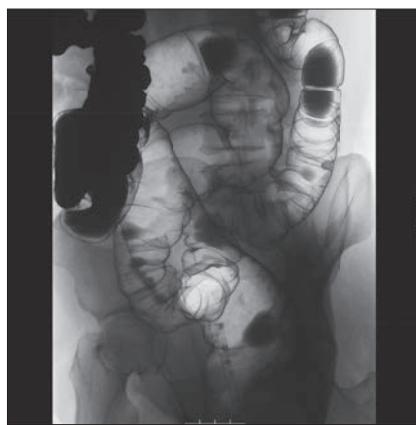


図2



図3



図4



図5



図6

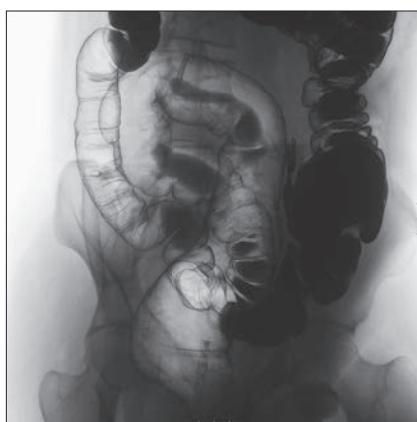


図7

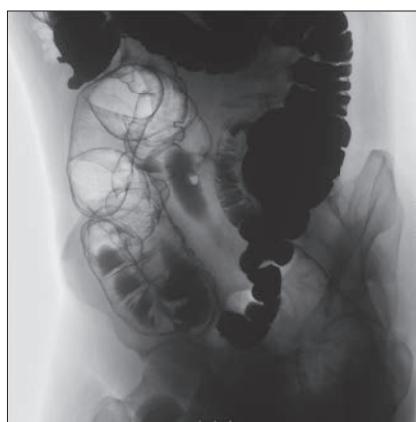


図8

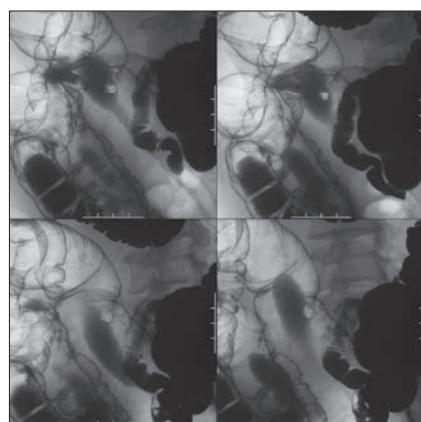


図9



図10

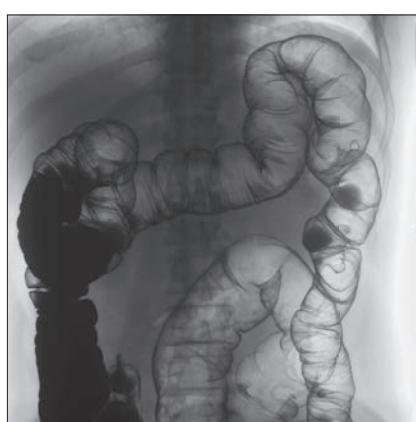


図11



図12



図13

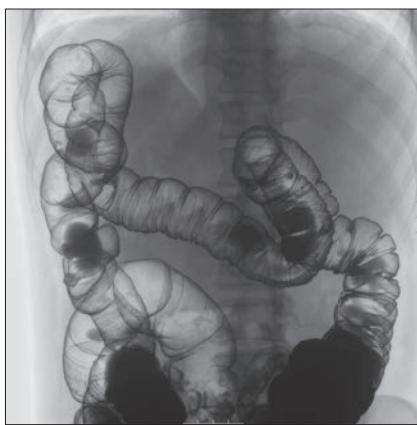


図14

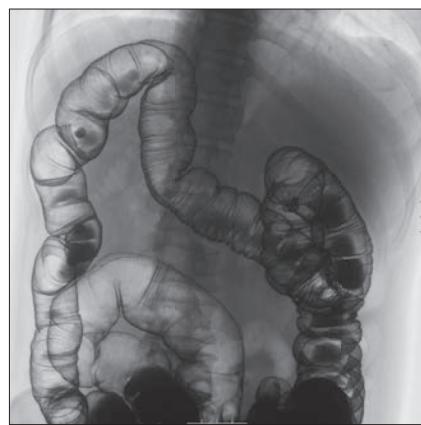


図15



図16

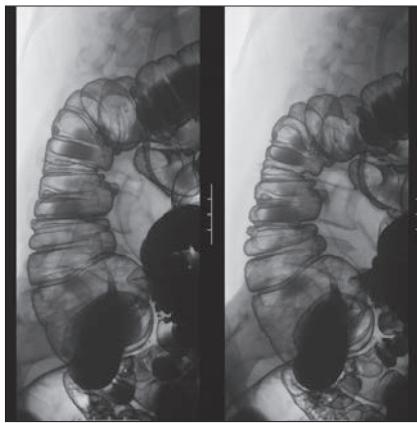


図17

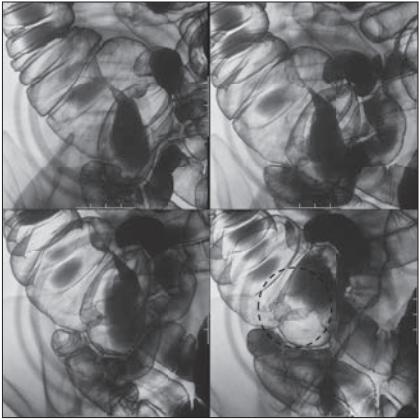


図18

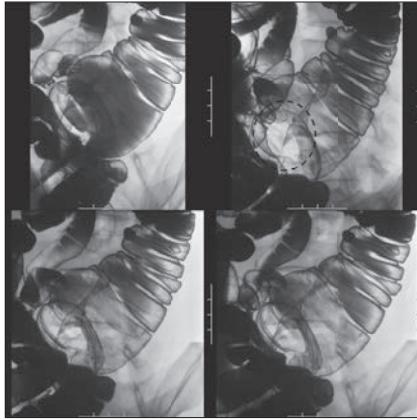


図19

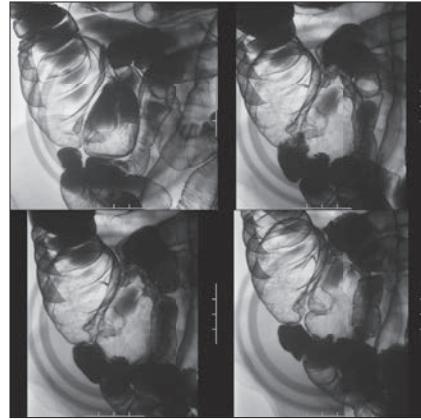


図20

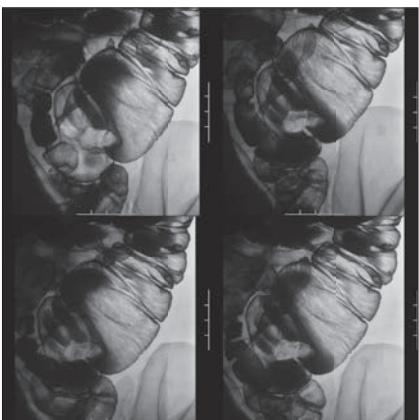


図21



図22



図23

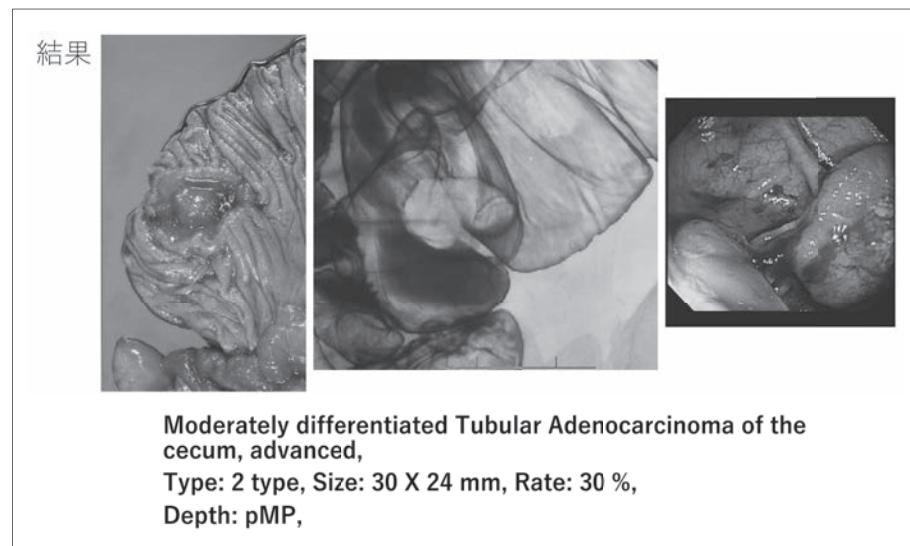


図24

病変周囲に淡く漂わせて撮影された画像です。腹臥位で圧迫枕を活用して腸管を平坦化し盲端部の描出も意識してバリウムを漂わせることが重要です。病変の周囲からのヒダ性状・境界のはじき像・陥凹の深いバリウムのたまり像と病変全体像を明瞭に描出することができております。

結果は図24に示す通り、大きさ30×24mm・深達度MPの2型の進行癌でした。

## 2 | 横行結腸病変の描出

この症例は、前回の撮影法の工夫で提示した症例です。今回は横行結腸の病変描出について解説致します。

大腸内視鏡検査後当日の注腸X線検査、いわゆるCF(CS)後注腸における水分残渣への対応で

す。図25は、注腸X線検査直前の腹部立位単純X線画像です。内視鏡検査後なので、大腸ガスを多量に認め、鏡面像を形成し、中等量以上の水分残渣の残存が推定されます。これらに対して、通常通りの対応では、粘膜へのバリウム付着の低下が懸念されます。特に深部結腸においては、著しいバリウム付着の低下が予想され、付着評価の評価基準が達成できないことが容易に想定されます。この状況に対して、造影剤の濃度調整・高濃度(浸透圧の高い製剤の活用)で検査を試みてみました。図26~図35に提示した通り、直腸・S状結腸・下行結腸・横行結腸・上行結腸・盲腸まで、深部結腸含め非常に良好なバリウム付着となっております。腹部単純画像等で事前に前処置の状態を把握して、臨機応変に対応することが重要となります。また検査前に再度、排ガス排便を促すことも非常に基本的なことですが重要であると考え



図25



図26



図27



図28



図29



図30

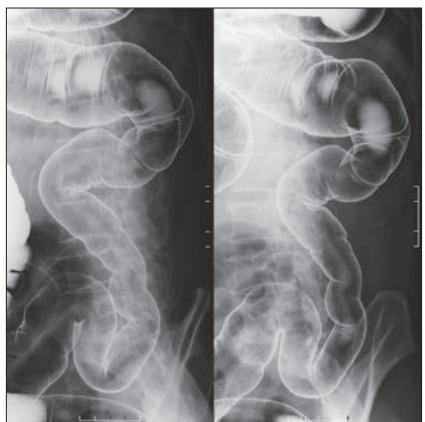


図31



図32

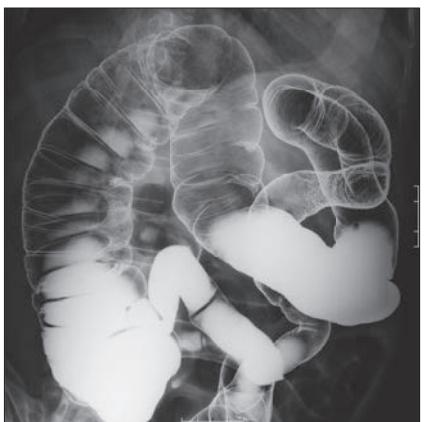


図33

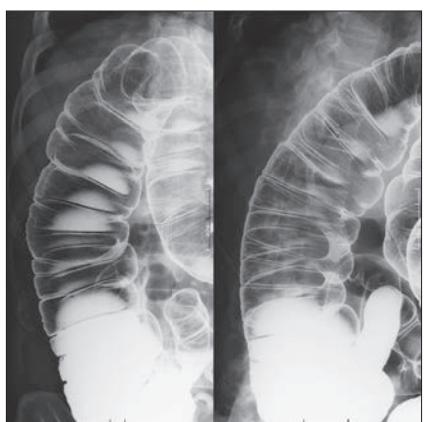


図34

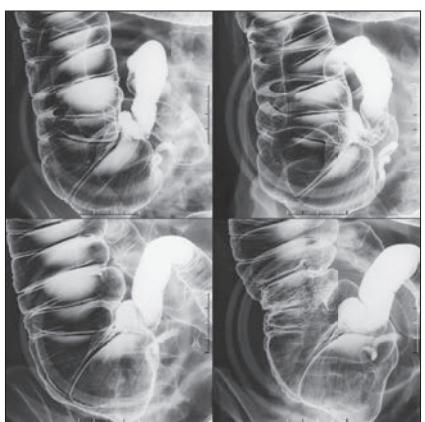


図35



図36

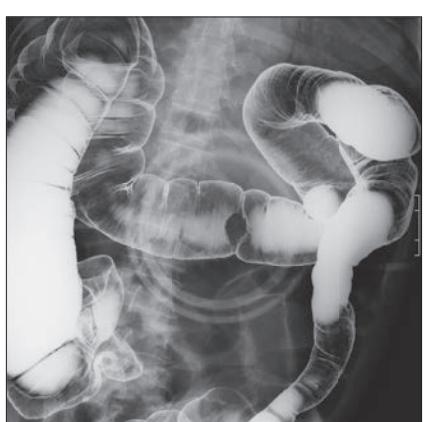


図37

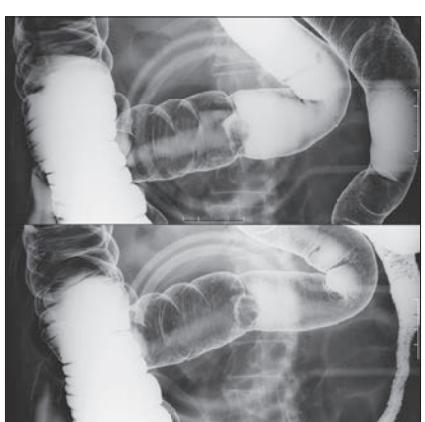


図38

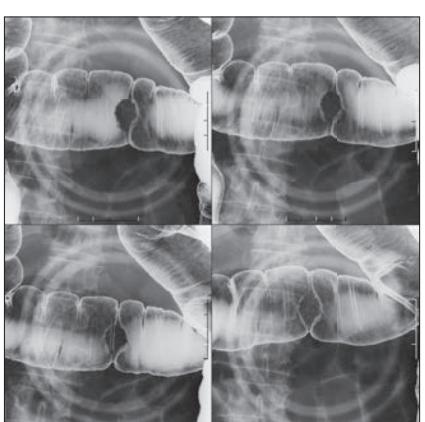


図39

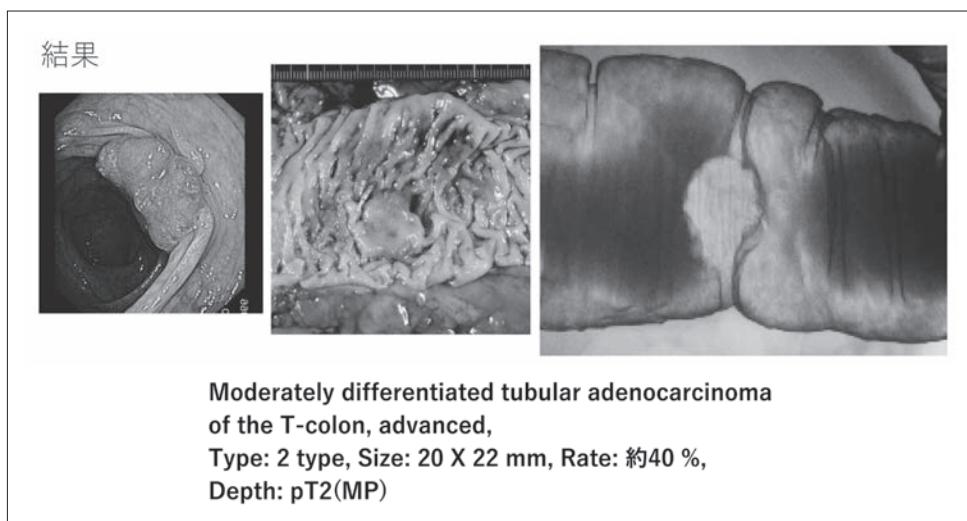


図40

ます。

次に横行結腸の病変部についてです。図36の背臥位正面にて、横行結腸ほぼ中央に透亮像を認めます。その病変部位にバリウムを流してみると、明瞭なはじき像として描出されます（図37）。図38で少し厚めにバリウムを流し少し強めに圧迫すると、はじき像と共に淡いたまり像を認め陥凹の存在が示唆されます。図39の圧迫漂流スポット撮影でもひだに乗るように、横行結腸背側に約20mmの隆起+陥凹病変を認めます。病変に厚みを感じさせますので、固有筋層まで浸潤した進行癌が示唆されます。

結果は図40に示す通り、大きさ22×20mm・深

達度MPの2型の進行癌でした。

### 3 | おわりに

今回は、腸管の狭窄や狭小化を伴わない、進行癌症例の提示・描出方法についてお話しさせていただきました。背臥位・腹臥位の両体位での撮影に加え、圧迫や漂流撮影を駆使して、病変の局在を明確にし、病変形態と性状、深達度診断が可能な精度の高い画像情報を提供する必要があります。次回は、腸管の狭窄狭小化を伴う進行癌について症例提示させていただきます。

## 3年ぶりの広報活動

東放技 広報委員会

「第45回練馬まつり」が2022年10月16日(日)に、練馬駅北口およびマロニエ通り周辺で開催されました。毎年開催されていましたが、新型コロナウイルス感染症拡大により3年ぶりの開催になりました。

当日の朝は曇り空でしたが、昼になるにつれて夏を思わせるような晴天に恵まれ汗ばむような陽気となりました。本会の広報委員会は、公益事業として都民を対象に、行政まつり、他職種医療団体イベントに参加し、都民への放射線医療や放射線に関する正しい知識の普及・啓発活動を行っています。また、体験活動として、模擬乳房の乳がん触知体験、骨密度測定、放射線検査クイズなどを実施しています。

練馬まつりは、昭和53(1978)年に、練馬駅北側のカネボウ跡地を会場として開催された「練馬区民祭」が、第1回にあたります。カネボウ跡地は、現在、練馬文化センターや平成つつじ公園やバスロータリーが整備されていますが、当時は何もない広い空地のままでした。前回の練馬まつりは、令和元(2019)年にとしまえんで開催し、35,000名もの方が来場され、園内4か所のステージでは練馬区内の団体などがダンスや演奏などを披露しました。また、チャレンジひろば、物販・飲食ブースは多くの人で賑わい

大盛況でした。現在は閉園されているため場所を移して新たなチャレンジとなりました。(パンフレットより抜粋)

今回、私たち東京都診療放射線技師会は、南町小学校で出展致しました。内容は、被ばく相談、模擬乳房の乳がん触知体験、ノベルティグッズ配布でした。また、本会会員である、畦元将吾衆議院議員(厚生労働大臣政務官)が応援にいらしてくださいました。被ばく相談などに活躍されました。また、ブースを訪れていただいた方は、100名を超える大盛況で、都民の関心の高さがうかがえて、久しぶりの対面での開催は盛況となりました。日曜日にもかかわらず、朝から準備いただいた広報委員会、城西支部委員会の諸氏に大変感謝致します。来年以降も無事に開催できることを祈っております。



# こえ

## 中央区健康福祉まつりに参加して

荻窪病院 画像診断科 片岡夏美

私は、乳がん模擬ファントムの触知体験や、乳房セルフチェックの方法の説明を担当しました。一日で百名近い方がこのブースに来場しました。模擬乳がんの触知体験では「こんなに硬いんだ」や「見つけるの難しい」など、さまざまな感想を聞くことができました。乳房セルフチェック方法の説明では皆さん熱心にお話を聞いてくださいました。自分の体を使い説明をすると、目の前で一緒にやってくれる方もいました。乳房のセルフチェックをたくさんの方に知って、覚えてもらえたと思います。また、乳がん罹患者数のグラフを見せると来場者自身の年

代の数を見て驚かれる方が多くいました。乳がんの定期健診の受診に関して来場者に聞くと、継続して受けている人と高齢になるまで全く受けることがなかった人とで二極化している実情を知りました。どちらの方にも、定期検診や乳房セルフチェックが乳がんの早期発見に有用であることを伝えました。

診療放射線技師として撮影業務ではない、このような啓発活動の一端を担うことはとても新鮮でした。この経験を今後の撮影業務に生かしていきたいと思います。



# こえ

## OTAふれあいフェスタ体験記

帝京大学医学部附属溝口病院 遠藤孝音

今回、コロナの影響で3年ぶりに開催された、OTAふれあいフェスタ2022に参加させていただきました。

われわれ東京都診療放射線技師会のブースでは骨密度検査体験、マンモファントムの触診体験を行い、私はマンモファントムの触診体験を担当しました。

私自身は触診の経験をしたことがなく、イベントが始まる前に説明を受け、実際にファントムを使って体験をさせていただきました。いざ体験会が始まると、人が集まつくると第一歩の声掛けが難しく、

会話の広げ方に戸惑っていましたが、横で先輩のお手本を見ながら徐々にコツを掴んでいくことができました。実際に体験に来る方は年配の方が多く、検診を必ず受けている方もいれば、検診の存在は知っていても歳だから受けても仕方がないと感じている方などさまざまでした。

会話を交えながらの説明はとても楽しく、また多くの方の乳がんや検診に対する意見を直接聞くことができ、とても良い経験になりました。このような機会を作ってくださいありがとうございました。

## OTAふれあいフェスタに参加させていただいた感想

昭和大学病院 長谷川哲朗

私は今回初めてOTAふれあいフェスタに参加させていただき、超音波を用いた骨密度検査体験を担当致しました。約150名の骨密度検査体験を行い、骨密度に対する興味を持つ人が多いことを実感しました。地域の方々が気軽に検査体験を受けて質問できるこのような機会は、検査に関する正しい理解を得る上でとても重要な場になっているように感じま

した。

普段の業務で骨密度を担当することがあるため、同時に大変勉強になりました。他病院の方々とも交流することができ、大変有意義な時間を過ごすことができました。

このような貴重な体験をさせていただきありがとうございました。



## OTAふれあいフェスタに参加して

NTT東日本関東病院 放射線部 古川早姫

OTAふれあいフェスタが3年ぶりに開催されました。33回目となる今年は感染対策を十分に実施し、規模を縮小しての開催で、私自身は今回が初めての参加でした。

東京都診療放射線技師会のブースでは例年通り、放射線検査や乳がんに関する掲示物の掲載のほか、人体モデルを使用した乳がんのしこり体験と踵骨での骨密度測定を行いました。

今回はお隣のブースが血管年齢の測定と、まさかの橈骨で骨密度測定を行っていました。また反対側ではe-Taxマスコットキャラクターのイータ君の着ぐるみや納税クイズが人気を呼んでおり、われら技師会ブースの集客が危ぶまれましたが、広報の方々のお力添えもあり、両隣のブースに負けず劣らず多

くの来場者が足を運んでくださいました。

乳がんのしこり体験では、「こんなに硬いんだね！」という声が多く聞かれました。今回のイベントを通して、多くの方に乳がんのことを知っていたことができ、またセルフチェックや健康診断の重要性も伝えられたと思います。骨密度測定も大盛況で、来場者の皆さまご自身の健康に対する関心の高さも窺い知ることができました。

まだまだ新型コロナ感染症の終息の兆しは見えませんが、地域のふれあいや交流の輪が少しづつ増えていき、東京都診療放射線技師会の活動がより活発になる日を願っています。OTAふれあいフェスタの開催に際して、企画運営など携わったスタッフの皆さんに感謝申し上げます。



# 会員動向

2022年4月～11月期

年 月	月末会員数	新 入	転 入	転 出	退 会
2021年度末集計	2,321	183	26	26	101
2022年 4月	2,354	32	8	4	3
2022年 5月	2,398	43	3	1	1
2022年 6月	2,431	39	1	4	3
2022年 7月	2,442	14	2	2	3
2022年 8月	2,463	21	1	1	0
2022年 9月	2,472	13	3	2	5
2022年10月	2,481	13	2	3	3
2022年11月	2,488	10	3	3	3

## 医療スタッフ随時募集中!!

診療放射線技師・看護師・保健師・臨床検査技師・薬剤師・歯科衛生士・管理栄養士

当社は、これまで数多くの病院・医療機関より要請を承っております。  
勤務の内容や時間帯、単発的なアルバイトや転職など、皆さまのご希望にあわせて  
お仕事をご紹介致します。

医療スタッフは、随時募集しております。ご友人、お知り合いの紹介も随時受け付けております。

☆ まずはお気軽にご連絡下さい。詳しくご案内させて頂きます。

☆ ご登録・ご相談は無料です。

☆ 健診や外来での撮影業務等、単発からございます。

☆ 受付時間 平 日 9：00 ~ 18：00

株式会社ジャパン・メディカル・ブランチ

フリーダイヤル 0120-08-5801

〒134-0088 東京都江戸川区西葛西6丁目17番5号 FAX:03-3869-5802

E-mail:info@jmb88.co.jp URL:https://www.jmb88.co.jp

一般労働者派遣事業許可:派13-301371 有料職業紹介事業許可:13-ユ-130023

# News

1月号

日 時：2022年11月2日（水）  
午後7時00分～9時30分  
場 所：インターネット回線上  
出席理事：野口幸作、関 真一、鈴木雄一、江田哲男、  
宇津野俊充、浅沼雅康、高野修彰、竹安直行、  
市川篤志、小林隆幸、渡辺靖志、長谷川雅一、  
原子 満、鮎川幸司、関谷 薫、増田祥代、  
布川嘉信  
出席監事：野田扇三郎、白木 尚  
指名出席者：島田 諭（第2地区委員長）、上田万珠代（第4  
地区委員長）、中田健太（第5地区委員長）、伊  
佐理嘉（第6地区委員長）、富丸佳一（第7地区  
委員長）、大津元春（第8地区委員長）、西郷洋  
子（第9地区委員長）、澤田恒久（第10地区委  
員長）、名古安伸（第11地区委員長）、宮谷勝  
巳（第14地区委員長）、中澤靖夫（顧問）、篠  
原健一（顧問）、笹沼和智（放射線相談委員長）、  
小野賢太（総務委員）、村山嘉隆（総務委員）、  
青木 淳（総務委員）、新川翔太（総務委員）  
欠席理事：麻生智彦  
欠席監事：なし  
議 長：野口幸作（会長代行・副会長）  
司 会：野口幸作（会長代行・副会長）  
議事録作成：村山嘉隆、青木 淳、新川翔太

## 会長挨拶

不在の為なし。

## 理事会定数確認

出席：17名、欠席：1名

## 前回議事録確認

前回議事録について確認を行ったが修正意見はなかった。

## 報告事項

### 1) 麻生 会長

・不在の為なし。

### 2) 副会長

関 副会長

・活動報告書に追加なし。

野口 副会長

・活動報告書に追加なし。

### 3) 業務執行理事

総務：鈴木理事

・活動報告書に追加なし。

庶務：宇津野理事

・活動報告書に追加なし。

### 4) 専門部委員会報告

・活動報告書に追加なし。

### 5) 各委員会報告

・活動報告書に追加なし。

### 6) 地区委員会報告

・活動報告書に追加なし。

### 7) 中間監査報告

白木 尚 監事：

2022年10月25日、本会事務所において4月から9月  
までの会務状況について監査した。報告書の通り、職  
務は正しく実行されていることを認める。新体制で迎  
えた理事会は、ビジョンが明確であり、精力的に取り  
組むところを期待しているところであった。このたび  
不慮の事態が発生したが、それに対しても迅速に的確  
に対応されている。役員の皆さんまで一致団結して取り  
組んでほしい。

野田扇三郎 監事：

計算書類、その他付属明細書、ならびに監査結果も  
今まで通り正しく記載されていた。会員の皆さんにご  
心配をかけるような状況にはなっていないことを監査  
した。

## 議 事

### 1) 会長代行について

野口幸作 副会長：

「定款第27条第7項、理事会は会長に事故があるとき、または会長が欠けたときは理事会が予め決定した順序によって代表権を除く業務を代行する」という文言がある。9月21日(水)の五役会にて、麻生会長から会長代行の順番は野口副会長、関副会長、鈴木理事、宇津野理事の順であるという話があった。10月4日の理事会で決議をする予定であったができなかつたため、本日の理事会にて決議を行いたい。

上記について審議した。

【承認：17名、保留：0名、否認：0名】

### 2) 事業申請について

#### ①第20回ウインターセミナー

テーマ：オンコロジー－がん治療について考える－

日 時：2023年1月28日(土) 15:30～18:00

場 所：東京都診療放射線技師会 研修センター

【承認：17名、保留：0名、否認：0名】

#### ②第3地区研修会

テーマ：学ぼう！脳梗塞－各モダリティのアプローチ－

日 時：2023年2月3日(金) 19:00～20:30

場 所：東京都診療放射線技師会 研修センター

【承認：17名、保留：0名、否認：0名】

#### ③第17回ペイシェントケア学術大会

テーマ：接遇の達人を目指して！

日 時：2023年2月4日(土) 10:00～16:00

場 所：一橋大学 一橋講堂

【承認：17名、保留：0名、否認：0名】

#### ④第2回第4地区研修会

テーマ：一般撮影装置の精度管理を学ぼう

日 時：2023年2月8日(水) 19:00～20:15

場 所：東京都診療放射線技師会 研修センター

(ハイブリッド開催)

【承認：17名、保留：0名、否認：0名】

#### ⑤第9地区研修会(Web)

テーマ：新人教育のあれこれ

日 時：2023年2月28日(火) 19:00～20:30

場 所：東京都診療放射線技師会 研修センター

【承認：17名、保留：0名、否認：0名】

#### ⑥多摩支部研修会

テーマ：臨床工学技士に聞く 救急医療で使う機器の

## 役割

日 時：2023年3月3日(金) 19:00～20:00

場 所：Web配信(東大和病院)

【承認：17名、保留：0名、否認：0名】

#### ⑦城南支部研修会

テーマ：Ai(死亡時画像診断)－現状と今後の展望(仮)

日 時：2023年3月10日(金) 19:00～20:30

場 所：東京都診療放射線技師会 研修センター

Web (Zoom)

【承認：17名、保留：0名、否認：0名】

### 3) 東京都診療放射線技師会法人格としての対応と今後について

野口幸作副会長よりこれまでの事件の経緯について以下の説明があった。

10月5日、JARTの上田会長より麻生会長逮捕の一報を受けた。関副会長と協議し、野口副会長が会長代行となることで五役会を含めて了承を得た。当日の夜、総務委員会より役員メールで報道や今後の対応について周知した。

10月6日、ホームページ上の役員名簿およびメンバーリングリストより麻生会長を閲覧不可とした。五役と顧問、監事および高山先生で会議を行い、その後臨時の専門部委員会を開催した。そこでホームページおよび会誌に掲載する文面を検討し、配信した。

また、東京都に報告する必要があると考え、東京都の管理法人課に連絡をした上で、10月19日に担当者と面会した。今後の対応に関して、対応案を東京都に提示し、制度上問題ないと回答を得た。理事会を通して理事の方々の意見を聞いた上で、決議を行うため、本日の理事会で検討を行った。

10月26日、麻生会長が再逮捕、起訴されたとの報道があった。JARTの上田会長より、麻生会長が理事を辞任する意向であるとの連絡を受けた。

10月28日、JARTの上田会長を通じて麻生会長の弁護士よりJARTおよびTARTの理事を辞任するとの連絡を受けた。10月31日にJARTの上島局長を通じて辞任届が郵送され、本日(11月2日)、事務所に原本が到着した。今回の事件は自施設での事件であり、JARTやTARTは一切関与していない。東京都の回答を踏まえ整理した上で、本理事会で審議する議案を以下に記載する。

議案1：麻生会長の退任を承認するのか。

議案2：退任の方法として、辞任届を受理し辞任とするのか、あるいは辞任届を受理せず解任とするのか。（承認：前者、否認：後者）

議案3：公益社団法人会長（代表理事）としての立場で逮捕および起訴された現状を踏まえ、何らかの責任追求（除名など）を行う必要があるか。

以上の議題について採決を行いたい。非常に重要な議案であるため、理事全員の意見を述べていただき、その後地区委員長および監事、顧問の先生方に意見を述べていただいた。

その意見を基に行った採決の結果を以下に記載する。

議案1 【承認：17名、保留：0名、否認：0名】

議案2 【承認：12名、保留：0名、否認：5名】

議案3 【承認：0名、保留：0名、否認：17名】

野口幸作 副会長：

以上の採決結果より、麻生会長（理事）の退任を承認し、辞任届を受理し辞任とする。また、東京都診療放射線技師会として責任追及は間わないと議決する。

鈴木雄一 総務委員長：

採決を行ったが、今回の事件を踏まえ、会長を選任した責任を理事および理事会として取るべきかを皆さまに問いたい。今回の事件は所属施設でのものであり、会長を選出した時点で我々は当該事実を知らない状況であったと考えられる。したがって、理事の任命責任はないとは考えている。

鮎川幸司 第13地区委員長：

私も鈴木総務委員長と同じ意見であるが、会員などから同様の問い合わせがあった場合の明確な回答は準備する必要があると考える。

長谷川雅一 広報委員長：

会長選出は代議員総会で承認を得て行っている。会長を選出したのは理事会であるが、理事として承認したのは代議員制をとっているため会員全員の承認と同義となる。会員から責任を問われる可能性はあるが、現時点では理事自ら責任を取る必要はないと考えている。

議案4：麻生会長に対する理事会の任命責任はない。

議案4 【承認：17名、保留：0名、否認：0名】

野口幸作 副会長：

他に意見がないため、現時点で理事が責任を取る必要はないものとする。麻生会長の辞任が先ほど承認されたため、新会長を選出したい。これに関して何か意

見はあるか。

鈴木雄一 総務委員長：

現理事から選出する制約はあるが、会務を正常通り運営するためにも、本理事会で新会長をただちに選出しなければならないと考える。次の理事会まで会長不在というのではありません。

野口幸作 副会長：

他に異論がないため、新会長選出とさせていただく。私からは江田理事を推薦したい。推薦理由として、東京都診療放射線技師会の役員歴が長く、日本診療放射線技師会の役員を歴任されており、視野が広く経験も豊富である。この難局を乗り切るために江田理事のお力が必要であると考えている。

江田哲男 厚生調査委員長：

東京都診療放射線技師会にとって大変厳しい状況であるが、私でよければ推薦を引き受けたい。

野口幸作 副会長：

それでは江田理事を新会長に選出する議決を行う。ご承認をお願いしたい。

議案5：江田理事を新会長に選出する。

議案5 【承認：16名、保留：1名、否認：0名】

江田哲男 会長：

只今皆さまのご承認により会長を拝命させていただき、感謝申し上げたい。新体制となり本年度の事業はすでに下半期となっているため、事業計画案に沿って諸々と事業を展開したいと考えている。まずは各地区委員長から意見を傾聴し、活動を推進していきたい。事業活動の見える化を行い、風通しの良い誰もが意見を言えるような組織を目指したい。今後とも引き続き皆さまのご協力をお願いしたい。

野口幸作 副会長：

新会長が選出されたので、会長代行の順序を決定したい。

江田哲男 会長：

会長代行の順序は現行通りで構わない。

4) 適正な会費額の検討について

関 真一 副会長：

各地区でお忙しい中議論していただき感謝申し上げる。以下、各地区の質問に対して回答する。

第2地区：

適正な会費額の検討について質問があがりました。

60歳以上かつ現役で働いている会員は、どの程度

いらっしゃるのでしょうか。60歳以上の会員が256名いるうちの何%ぐらいでしょうか？

会費減額案は良いのですが、事業規模が縮小するような方向にならないよう望みます。

閔 真一 副会長：

60歳以上の会員は把握できるが、勤務状況は把握できない。役員一同事業規模が縮小しないよう努力する。

第4地区：

2年限定の値下げの案に対して賛成である。しかし、2年限定ではなく継続しての値下げとするべきである。本気で組織率を上げるために、抜本的な改革を進めて、インパクトある金額(日本診療放射線技師会と合わせ5千円～1万円)の値下げに踏み込んでいく必要がある。

閔 真一 副会長：

会費減額の継続に関しては今後も検討する必要がある。5千円～1万円の減額に関して、ご意見として頂戴するが、日本診療放射線技師会は他団体であるため、東京都診療放射線技師会から会費減額を働きかけるのは困難である。

第7地区：

適正な会費額の検討について

→魅力ある技師会を作り、会員数を増やすことは賛成だが、会員数を増やすためノルマなど地区委員にプレッシャーを与えるような仕組みにならないか心配である。

閔 真一 副会長：

ノルマを課すことは考えていないが、役員一同会員数を増やす努力は必要である。

第13地区：

議題：適正な会費額の検討

- ・減額案には賛成であるが、継続的な対応が必要だと感じる。
- ・周辺の県では9千円、8千円とさらに減額している技師会があるので、他県の会の運営状況を確認してさらなる減額がされることを要望する。
- ・会費は高い安いは別にして地方技師会で統一されるのが望ましい形だと思う。

議題：適切な新入会費の検討

- ・組織率は重要と思いますので賛成である。
- ・会費減額は賛成である。若い世代の入会を促進する配慮や検討も必要と考える。

・減額することにより会員を増やして、その中から後継者を育てていかないと高齢化が進み会の存続に関わると思うため、減額は賛成である。

議題：60歳以上の会費の検討

・組織率を維持する意味でも定年後の退会を止める必要があると思う。定年退職年齢が職場によって異なるので60歳以上は年齢ではなく、入会20年以上の定年退職者は一律無料などの対応がよいのではないか。

・会費の減額については60歳以上などの年齢による区分だけでなく、長く技師会に入会している会員(10年以上など)についても減額するなどの対応があつてもよいかと思う。

閔 真一 副会長：

継続的な減額は今後も議論する必要がある。周辺他の県の技師会が減額している件に関して、まずは運営状況を確認する。運営状況が異なるため、地方技師会で会費を統一するのは困難である。定年退職に関しては技師会では把握できない。

第14地区：

新人は仕事を覚えることに忙しく技師会参加の機会も少ない。技師会への理解のためにも数年の会費抑制をお願いしたい。たとえば5年間は会費半額にすること。

また、70歳以上の会費については無料でなくともよいという意見が多かった。地区委員にも70歳の方がいるが、現役で働いている人には無料の必要はないという意見であった。

閔 真一 副会長：

貴重な意見として参考にさせていただく。数年の会費抑制に関しては、2年後に再度検討することになると思われる。70歳以上の方で勤務している会員は把握できない。以上の意見を踏まえ、第9回理事会において規程の改定を含めて採決を行いたい。規程改定後、定款諸規程委員会で議論する予定である。

上記について審議した。

【承認：17名、保留：0名、否認：0名】

5) 放射線相談委員会について

野口幸作 副会長：

先月の理事会で委員会の発足と委員長が笹沼委員長に決定した。今月の理事会で委員の選定を審議いただきたい。

上記について審議した。

【承認：17名、保留：0名、否認：0名】

6) 線量計校正と修理について

関 真一 副会長：

第7回理事会で線量計校正の承認をいただいたが、GMサーベイメータに修理が必要となり、新たな見積りがあるので承認いただきたい。

上記について審議した。

【承認：17名、保留：0名、否認：0名】

7) 新春のつどいについて

鈴木雄一 総務委員長：

感染状況と自粛などを考え、本年度も中止とさせていただきたい。

上記について審議した。

【承認：17名、保留：0名、否認：0名】

8) 新入退会について

10月：新入会13名、転入2名、転出3名、退会3名

上記について審議した。

【承認：17名、保留：0名、否認：0名】

地区質問、意見

「議事 4) 適正な会費額の検討について」にて回答

連絡事項

竹安直行 情報委員長：

ホームページ掲載について、掲載日と参加申込日が違う研修会があるが、遅滞の可能性があるので今後、掲載日と申込日と一緒にしたいので協力、または相談をお願いしたい。

江田哲男 厚生調査委員長：

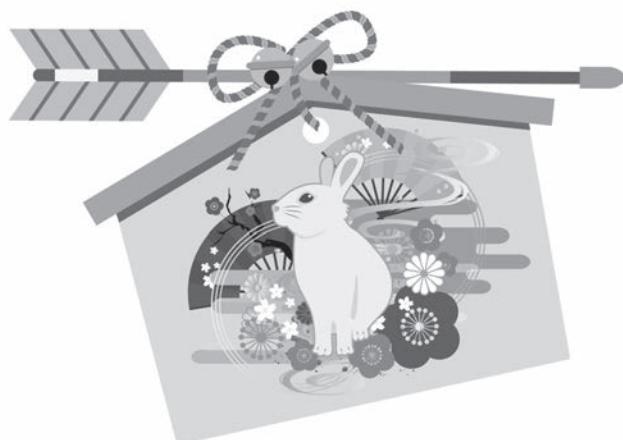
本年度のアンケート調査は、11月の中旬にQRコードを添付したハガキを会員一人一人に郵送しているので各地区でご協力の周知をお願いしたい。

今後の予定について（総務委員会）

鈴木雄一 総務委員長：

11月に学術講演会、荒川河川敷清掃、OTAふれあいフェスタ、日暮里塾ワンコインセミナーがある。12月は役員研修会がなく、1日ではなく8日に理事会がある。次年度の事業計画案を確認、まとめるなどの作業があるので早く年内までにお願いしたい。Wordを送るが去年と同じフォーマットで構わない。会員増加を目指した事業計画をよろしくお願ひしたい。

以上



## 学術講演会・研修会等の開催予定

日時、会場等詳細につきましては、会誌でご案内しますので必ず確認してください。

### 2022年度

#### 1. 学術研修会

第23回メディカルマネジメント研修会	未定
☆第20回ウインターセミナー ハイブリッド開催	2023年1月28日(土)

#### 2. 生涯教育

第71回きめこまかな生涯教育	2023年3月
----------------	---------

#### ☆3. 日暮里塾ワンコインセミナー

第143回日暮里塾ワンコインセミナー Web開催	2023年1月11日(水)
--------------------------	---------------

#### 4. 集中講習会

第13回MRI集中講習会	未定
--------------	----

#### ☆5. 支部研修会

多摩支部研修会 Web開催	2023年3月3日(金)
城南支部研修会 Web開催	2023年3月10日(金)

#### 6. 地区研修会

第3地区研修会 ハイブリッド開催	2023年2月3日(金)
第4地区研修会 ハイブリッド開催	2023年2月8日(水)
第16地区研修会 ハイブリッド開催	2023年2月10日(金)
第12地区研修会 Web開催	2023年2月17日(金)
第5地区研修会 Web開催	2023年2月22日(水)
第9地区研修会 Web開催	2023年2月28日(火)
第11地区研修会	2023年3月8日(水)
第6地区研修会	2023年3月9日(木)

#### 7. 専門部委員会研修会

第17回ペイシエントケア学術大会 ハイブリッド開催	2023年2月4日(土)
第1回災害対策研修会 Web開催	2023年3月4日(土)
第2回災害対策研修会	2023年3月18日(土)

#### 8. 東放技参加 行政祭り等

☆印は新卒かつ新入会 無料招待企画です。

(新卒かつ新入会員とは、技師学校卒業年に技師免許取得し本会へ入会した会員をいう)

# Canon



## Introducing our new approach to AI in healthcare

AIテクノロジーを活用した、新しい医療価値の創出——。その世界の起点を  
私たちちは変わることなく、尊い「いのち」への貢献であると考えています。

一人ひとりの患者さんのペーシェント・ジャーニー。  
さまざまなシーンで、よりパーソナライズされた高精度な診断を支えるのは、高精度データです。

高精細検出器をはじめとする独自技術を、機械学習・深層学習の技術と融合させる。  
私たちのアプローチから生まれたソリューションはすでに、診断の「質」の向上、CTにおける被ばく量の低減など、新たな医療の世界をかたちづくっています。

<Altivity>は、キヤノンメディカルシステムズのAIソリューション・ブランドです。

Z000023-08

キヤノンメディカルシステムズ株式会社 <https://jp.medical.canon>

Made For life

# microSTAR ii

medical dosimetry system

nanoDot線量計を測定するために設計されたポータブルリーダーです。  
nanoDot線量計はX線画像に写らないため、放射線治療や診断時の患者線量の評価に適した小型OSL線量計です。



### nanoDot線量計



- 外形寸法 W10×H10×D2mm
- 測定範囲 10 μGy~10Gy
- エネルギー範囲 5keV~20Mev

 長瀬ランダウア株式会社

本社/〒300-2686 茨城県つくば市諏訪C22街区1 TEL.029-839-3322  
大阪営業所/〒550-8668 大阪市西区新町1丁目1番17号 TEL.06-6535-2675  
ホームページアドレス <https://www.nagase-landauer.co.jp>

# 公益社団法人東京都診療放射線技師会 研修会等申込書

研修会名	第 回	
開催日	令和 年 月 日( ) ~ 月 日( )	
会員/非会員 (必須)	<input type="checkbox"/> 会員 <input type="checkbox"/> 非会員 <input type="checkbox"/> 一般 ※ 日放技会員番号(必須) [ ] <input type="checkbox"/> 新卒かつ新入会の方はチェック	
所属地区	第 地区 または 東京都以外 [ ] 県	
ふりがな		
氏名		
性別	<input type="checkbox"/> 男性 <input type="checkbox"/> 女性	
連絡先	<input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 施設 ⇒ 施設名 [ ]	
	TEL (必須)	
	FAX	
	メール (PCアドレス)	
備考		

**FAX 03-3806-7724**  
**公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所**

## 登録事項変更届

公益社団法人東京都診療放射線技師会 殿

公益社団法人日本診療放射線技師会 殿

会員番号			
氏名	印		
氏名(カタカ)			
性別	男性 · 女性		
生年月日	昭和	平成	年 月 日生
メールアドレス			

下記のとおり、登録事項の変更をお願い申し上げます。

 氏名の変更

改姓(変更後の氏名)	
------------	--

 送付先変更

現在の送付先	勤務先 · 自宅
新送付先	勤務先 · 自宅

 住所等の変更

新勤務先	勤務先名	部署
	勤務先所在地	〒 -
	電話	
旧勤務先		
新自宅	現住所	〒 -
	電話	
旧自宅住所		

 その他

通信欄	
-----	--

受付  
確認

令和 年 月 日  
令和 年 月 日 印

# Postscript

新 年明けましておめでとうござい  
ます。本年もよろしくお願ひ致  
します。

最近「メタバース」が気になってい  
ます。仮想空間やバーチャル空間と同  
義でその言葉自体は新しいものではな  
く、元々は作家のニール・スティーヴ  
ンソンが1992年に発表したサイバーパ  
ンク小説『スノウ・クラッシュ』に登  
場する架空の仮想空間サービスの名称  
だそうです。メタバースという用語は  
「超(メタ)」と「宇宙(ユニバース)」を  
組み合わせた造語で、同様の造語とし  
て、仮想空間の名称はバーチャル空間、  
VR(仮想現実空間)、サイバースペー  
ス(電腦空間)、WIRED(つながってい  
る場所)、といったものがあります。

身近なところではゲームの世界がそ  
れで、大ヒットしている「あつまれど  
うぶつの森(あつ森)」をメタバースと  
捉えることができ、ゲーム内でのイベ  
ントが現実のビジネスになっているも  
のもあるそうです。また、順天堂大学

とIBMが「バーチャルホスピタル」と  
いう産学連携研究を始めるとのニュー  
スがありました。これが進めば、病院  
受診や治療を予め疑似体験することで、  
現実の治療等がスムーズになるのでは  
ないでしょうか。

さまざまな応用が期待できるメタ  
バースから目が離せないです。

(すえぞう)



## ■ 広告掲載社

富士フィルムメディカル(株)  
コニカミノルタジャパン(株)  
富士フィルムヘルスケア(株)  
キヤノンメディカルシステムズ(株)  
(株)ジャパン・メディカル・プランチ  
日本メジフィジックス(株)  
長瀬ランダウア(株)

## 東京放射線 第70巻 第1号

令和4年12月25日 印刷(毎月1回1日発行)

令和5年1月1日 発行

発行所 東京都荒川区西日暮里二丁目22番1 ステーションプラザタワー505号  
〒116-0013 公益社団法人東京都診療放射線技師会

発行人 公益社団法人東京都診療放射線技師会

会長 江田哲男

振替口座 00190-0-112644

電話 東京(03)3806-7724 <https://www.tart.jp/>

印刷・製本 株式会社キタジマ

事務所 執務時間 月曜～金曜 9時30分～17時00分

案内 ただし土曜・日曜・祝日および12月29日～1月4日は執務いたしません

TEL・FAX (03)3806-7724

## 編集スタッフ

浅沼雅康

岩井譜憲

森 美加

高橋克行

田沼征一